

# ココが知りたい! 原子力のクエスチョン

## Q 浮遊塵と降下物ってなあに?

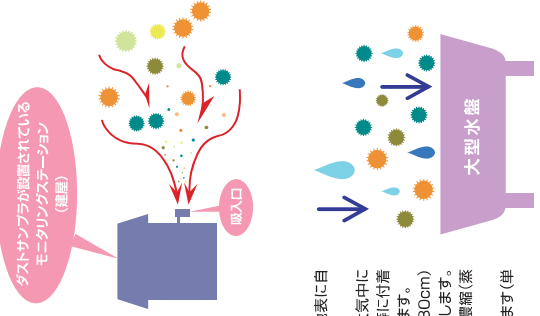


### 浮遊塵

浮遊塵とは大気中に浮遊している微小な塵(ちり)のことです。大気中の放射性物質濃度を求めるため、集塵器(ダストサンプリャ)を用いて、1か月間で大気4,000m<sup>3</sup>を吸引し、塵をろ紙に捕集します。その後、ろ紙を回収し、灰化等の前処理を行い、測定します。測定結果は空気1立方メートル当たりの放射性物質の量で表します(単位:ベクレル/m<sup>3</sup>)。放射性物質を吸入することによる内部被ばくの量の推定に用います。

### 降下物

降下物とは、雨や重力によって、地表に自然に降りてくる塵や埃のことです。放射性物質が放出されると上層大気中に拡散し、大気中に浮遊している塵等に付着して地上に降下して行くことがあります。降下物の測定は、大型水盤(直径約80cm)を用いて1か月間の降下物を採取します。その後採取した降下物を回収し、濃縮(蒸発乾燥)等の前処理をして、測定します。測定結果は1平方メートル当たりに落ちてきた放射性物質の量で表します(単位:ベクレル/m<sup>2</sup>)。地表に沈着する放射性物質の量がわかります。



# 原子力だより

NO. 182



環境放射能調査では、原子力発電所周辺で、県と4市と中部電力が試料を採取し、放射能を測定しています。環境試料中の放射能測定では、わざわざわずかな放射能でも測れるように前処理(乾燥・灰化・蒸発乾燥等)を十分に行ってから、放射能測定装置により長時間かけて測定します。

## 平成31年4月から令和元年6月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るために行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。  
平成31年4月～令和元年6月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。(詳細は次ページ)

## 浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間(平成31年4月～令和元年6月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。なお、令和元年10月18日現在、3号機、4号機及び5号機については施設定期検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

**静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局**  
 静岡県危機管理部原子力安全対策課  
 〒420-8601 静岡市葵区進寿町9番6号 TEL.054.(22)1.2088 FAX.054.(22)1.3685  
 E-mail [antai@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:antai@pref.shizuoka.lg.jp)  
 ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

**静岡県環境放射線監視センター**  
 〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548.(29)1111 FAX.0548.(29)0335  
 ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>



# 原子力だより No.183



写真はすべて浜岡発電所構内で撮影

中部電力は、浜岡原子力発電所1,2号機の廃止措置に伴って発生した廃棄物に、クリアランス制度<sup>※</sup>を適用するため、その放射能濃度を測定した結果を国に確認してもらおう申請をしました(令和元年11月)。  
※クリアランス制度については、最終ページの「ここが知りたい原子力のクエスチョン」をご覧ください。

## 令和元年7月から9月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

**令和元年7月～9月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。**

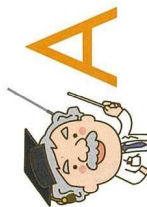
今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、**健康への影響は心配ないレベルでした。**

(詳細は次ページ)



## ココが知りたい! 原子力のクエスチョン

Q クリアランス制度ってなんですか



原子力発電所の運転や解体に伴って様々な廃棄物が生じます。その中には、人の健康への影響を無視できるほど、放射能濃度が極めて低いものがあります。

クリアランス制度とは、そのような廃棄物の放射能濃度を測定して、国が定める基準以下(年間の摂取線量0.01mSv以下)であることの確認を受ける制度です。

原子力事業者が、その廃棄物にクリアランス制度を適用するには、放射能濃度の測定方法について国から認可を受け(第1段階)、廃棄物を、実際に測定した結果を国に提出して問題ないことを確認してもらいます(第2段階)。(右図参照)  
国が定める基準以下であると確認された廃棄物は、クリアランス物と呼ばれ、普通の産業廃棄物として処理したり、再生利用したりできます。

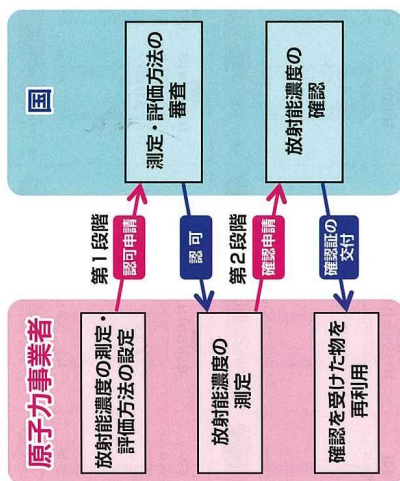


図 クリアランス制度の手続きの流れ

## 浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和元年7月～9月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和元年12月24日現在、3号機、4号機及び5号機については施設定期検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

### 静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局

静岡県危機管理本部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail [antai@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:antai@pref.shizuoka.lg.jp)

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

### 静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

この印刷物は、77,000部発行し、1部あたり5.30円(紙料)を回収する仕組みです。

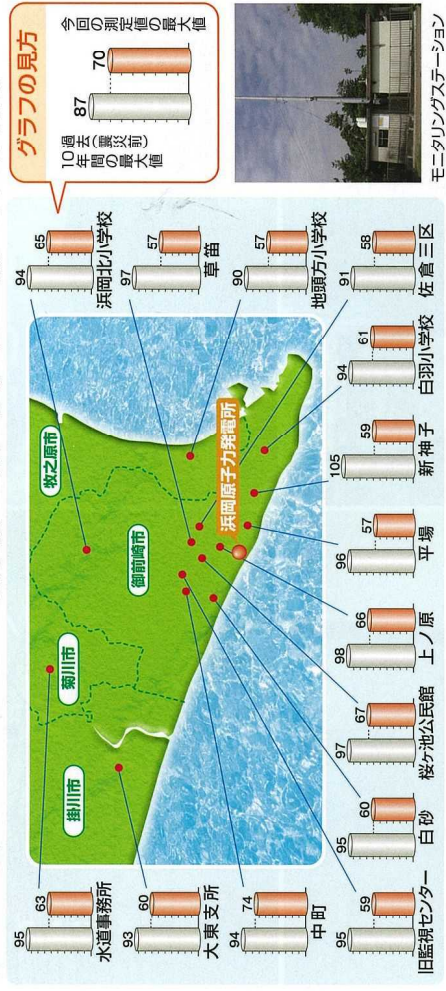
# 令和元年7月～9月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
東日本大震災に伴う、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

## 空間の放射線の測定

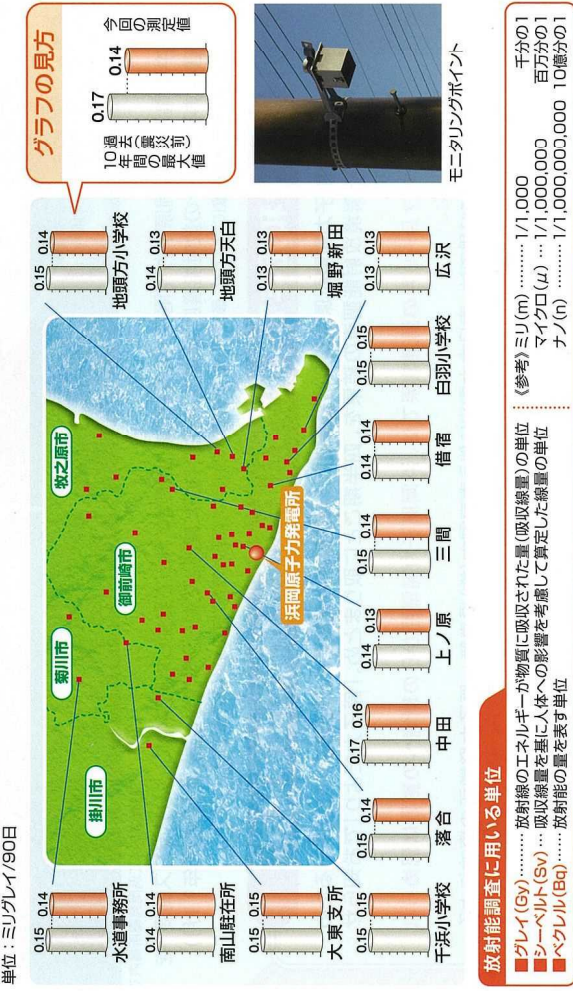
▶1時間当たりの放射線量(線量率)  
単位：ナングレイ/時

モニタリングステーション(14か所)において、空間の放射線が1時間当たりどのくらいかを連続して測定しています。令和元年7月から9月で過去(震災前)10年間の最大値を超えた地点はありませんでした。



▶3か月間の放射線量(積算線量)  
単位：ミリグレイ/90日

57か所のモニタリングポイントにおいて、空間の放射線が令和元年7月から9月の3か月間(90日換算)でどのくらいになるかを測定しました。



## 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和元年7月から9月の間に測定した試料の一部※は、過去(震災前)10年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。  
※測定した16試料52検体のうち、2試料2検体

### ▶代表的な試料の放射性セシウム137の測定値の最大値



今回の空間放射線の測定(および「農産物などの放射能の測定」の結果から、人工放射性物質による年間被ばく量は、最大限に見積もっても**0.001ミリシーベルト/年**と比べ十分に低い値です。  
量は、最大限に見積もっても**0.001ミリシーベルト/年**と比べ十分に低い値です。  
※「環境放射線モニタリング計画」平成20年(原子力安全委員会)から引用する摂取量に基づき推計  
(参考)「食品衛生法」に基づく食品中の放射性物質基準値 … 一般食品(100ベクレル/kg)・母乳(50ベクレル/kg)・飲料水(10ベクレル/l)

## 《参考》日常生活と放射線

私たちは、日常生活の身近なところで自然や人工のさまざまな放射線を受けて暮らしています。これらの放射線の量に比べて、今回推計した年間被ばく量0.001ミリシーベルト未満/年は、とても低い量であることが分かります。



## ココが知りたい! 原子力のクエスチョン

Q エアシエリターってなんですか？



原子力災害に備えて原子力発電所の周辺自治体は、要配慮者等が一時的に屋内退避を行う施設を整備しています。この施設の中には、体育館のフロアなどに、原子力災害時用テント「エアシエリター」を展開する方法があります。

エアシエリターは、空気浄化ユニットにより放射性物質を除去した空気で拡張し、内部を満たします。エアシエリター内の気圧を高くすることで放射性物質がエアシエリター内に侵入するのを防ぎます。また非常用発電機を備え、停電時においても稼働可能で、これまでに、エアシエリターは御前崎市、牧之原市の10施設に整備されています。



## 浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和元年10月～12月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。なお、令和2年3月27日現在、3号機、4号機及び5号機については施設定期検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

### 静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局

静岡県危機管理本部原子力安全対策課  
〒420-8601 静岡市東区進寿町9番6号 TEL.054.(22)12088 FAX.054.(22)13685  
E-mail [antai@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:antai@pref.shizuoka.lg.jp)  
ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター  
〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548.(29)1111 FAX.0548.(29)0335  
ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

令和2年5月発行 企画・編集・発行 / 静岡県原子力発電所環境安全協議会

ISSN 0912-1838

Shizuoka

# 原子力だより 184

静岡県原子力発電所環境安全協議会



県と関係11市町等は、1月28・29日に、浜岡原子力発電所における原子力災害を想定した原子力防災訓練を実施しました。オフサイトセンターや避難遅延時検査場所の運営訓練等に加え、放射線防護対策設備(エアシエリター)への住民避難訓練を初めて行いました。

※エアシエリターについては、最終ページの「原子力のクエスチョン」をご覧ください。

## 令和元年10月から12月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るために行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和元年10月～12月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

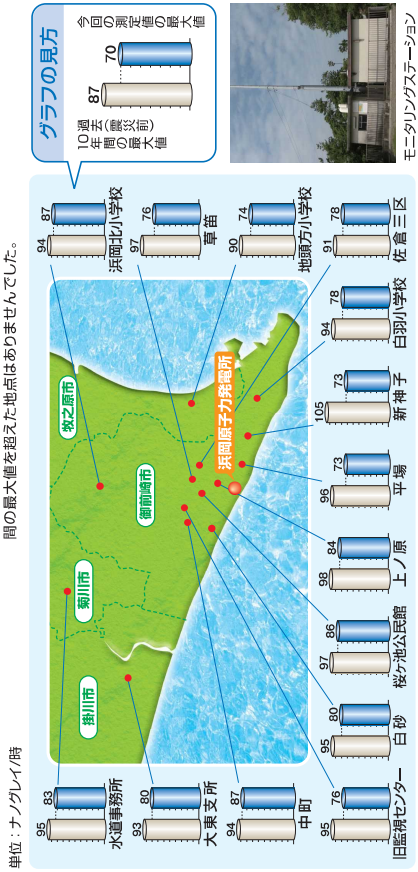
(詳細は次ページ)

# 令和元年10月～12月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

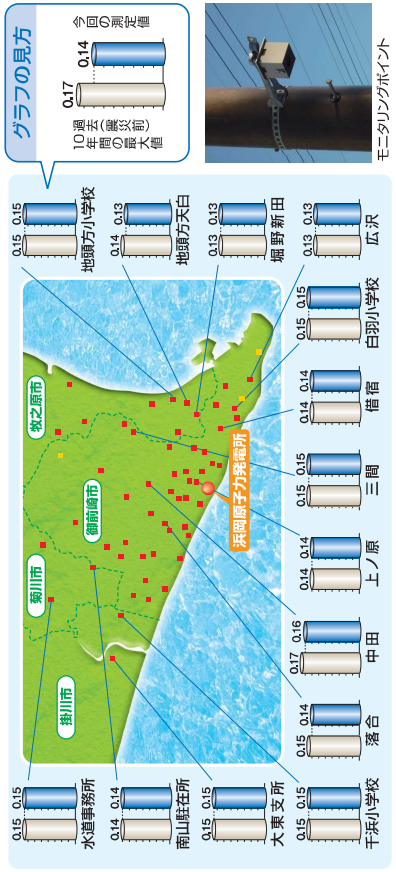
浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
東日本大震災に伴う、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

## 空間の放射線の測定

モニタリングステーション(14か所)において、空間の放射線が1時間当たりどのくらいかを連続して測定しています。令和元年10月から12月で過去(震災前)10年間の最大値を超えた地点はありませんでした。



57か所のモニタリングポイントにおいて、空間の放射線が令和元年10月から12月の3か月間(90日換算)でどのくらいになるかを測定しました。そのうち3か所で過去(震災前)10年間の最大値を超える値(約0.01ミリシーベルト/90日)の超過となりました。



放射能調査に用いる単位  
グレイ(Sv)……放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位  
シーベルト(Sv)……吸収線量を基に人体への影響を考慮して算出した線量の単位  
ベクレル(Bq)……放射線の量を表す単位  
(参考) マイクロ(m)……1/1,000  
ミリ(m)……1/100  
センチ(cm)……1/10  
メートル(m)……1  
キロ(k)……1,000  
メガ(M)……1,000,000  
ギガ(G)……1,000,000,000  
トナ(n)……1,000,000,000,000

## 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和元年10月から12月の間に測定した試料の一部※は、過去(震災前)10年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。

※測定した17試料64検体のうち、1試料1検体

### ▶代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値



今回の「空間の放射線の測定」および「農産物などの放射能の測定」の結果から、人工放射性物質による年間被ばく量は、最大限に見積もっても約0.02ミリシーベルト/年と推計されます\*。この値は、公衆の年間被ばく線量限度である1ミリシーベルト/年と比べて十分低い値です。

\*環境放射線モニタリング指針(平成20年(原子力安全委員会)から引用する採取量に基づき推計)  
《参考》食品衛生法に基づく食品中の放射性物質基準値……一般食品[100ベクレル/kg]、原乳[50ベクレル/kg]、飲料水[10ベクレル/l]

## 《参考》日常生活と放射線

私たちは、日常生活の身近なところで自然や人工のさまざまな放射線を受けて暮らしています。これらの放射線の量に比べて、今回推計した年間被ばく量約0.02ミリシーベルト/年は、とても低い量であることが分かります。



国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所HPより引用して改題

# 33 知りたい! 原子力のクエスチョン

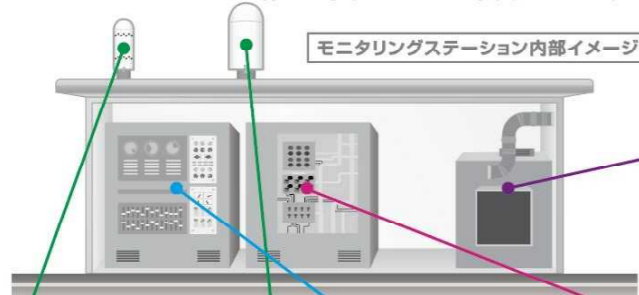
Q モニタリングステーションの中はどうなっているの?



A

モニタリングステーションには、放射線を検出する装置(図1及び2)、測定してそのデータを収集する装置(図3)、環境放射線監視センターにデータを送信する装置(図4)が設置されており、空間放射線量を自動的に24時間連続で測定し、その値を監視しています。

また、これらの装置を中断なく安定して稼働させる必要があるため、停電対策として、自家発電装置(図5)等を備えています。



モニタリングステーション内部イメージ



(図5) 自家発電装置



(図1) NaIシンチレーション式検出器  
低いレベルの放射線を測定  
(図2) 電離箱式検出器  
高いレベルの放射線を測定



(図3) 空間線量率測定装置



(図4) テレメータ子局装置

環境放射線監視センター

## 浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和2年1月~3月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止借置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和2年7月20日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局  
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

ISSN 0912-1838

Shizuoka

静岡県原子力発電所環境安全協議会

# 原子力だより No. 185



モニタリングステーション



モニタリングステーションの配置図



環境放射線監視センターの監視端末



関係市町モニター(大型データ表示装置)

浜岡原子力発電所周辺の空間の放射線量を、モニタリングステーションで24時間連続で測定しています。測定したデータは、環境放射線監視センターで異常がないかチェックしています。また、環境放射線監視センターのホームページや関係市町に設置したモニターで、皆様にお知らせしています。

## 令和2年1月~3月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るために行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和2年1月~3月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

(詳細は次ページ)

# 令和2年1月~3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

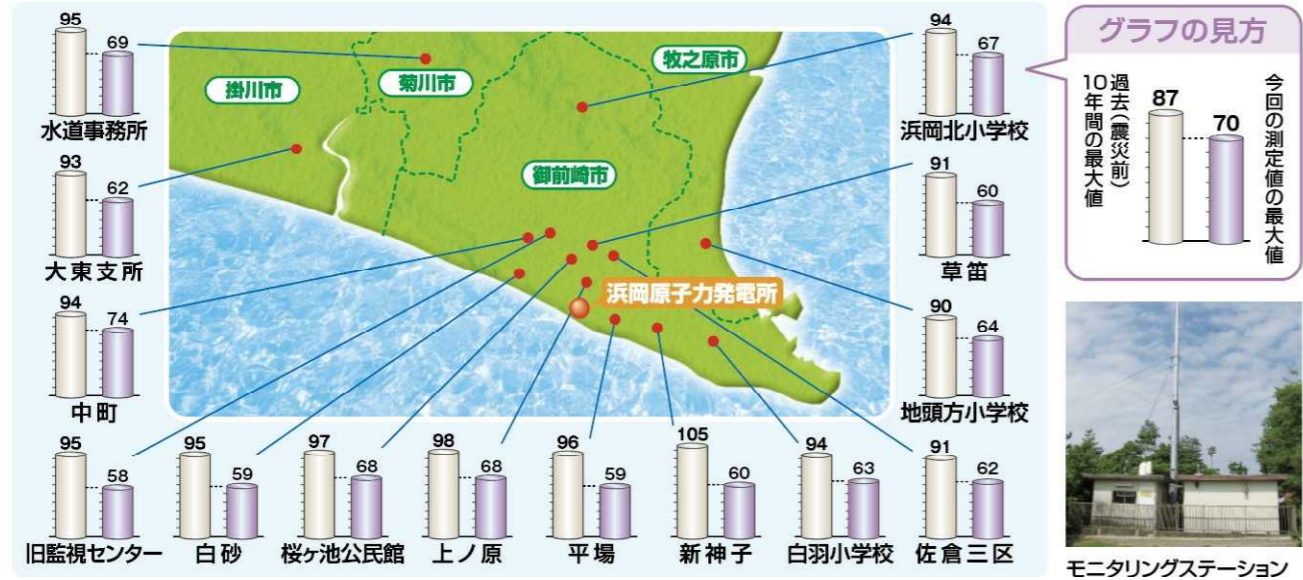
浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
東日本大震災に伴う、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

## 空間の放射線の測定

### ▶1時間当たりの放射線量(線量率)

モニタリングステーション(14か所)において、空間の放射線が1時間当たりどのくらいかを連続して測定しています。令和2年1月から3月で過去(震災前)10年間の最大値を超えた地点はありませんでした。

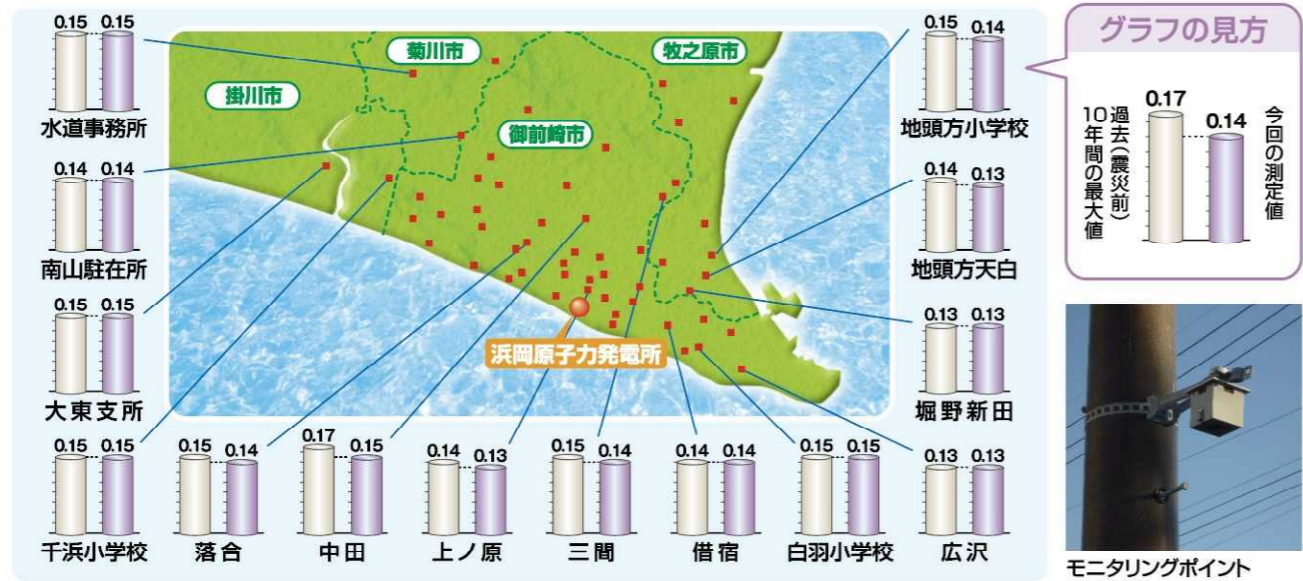
単位: ナノグレイ/時



### ▶3か月間の放射線量(積算線量)

57か所のモニタリングポイントにおいて、空間の放射線が令和2年1月から3月の3か月間(90日換算)でどのくらいになるかを測定しました。

単位: ミリグレイ/90日



#### 放射能調査に用いる単位

- グレイ(Gy)……放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位
  - シーベルト(Sv)……吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位
  - ベクレル(Bq)……放射能の量を表す単位
- 【参考】ミリ(m)……1/1,000 千分の1  
マイクロ(μ)……1/1,000,000 百万分の1  
ナノ(n)……1/1,000,000,000 10億分の1

## 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和2年1月から3月の間に測定した試料の一部\*は、過去(震災前)10年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。

\*測定した17試料64検体のうち、2試料2検体

### ▶代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値



今回の「空間の放射線の測定」および「農産物などの放射能の測定」の結果から、人口放射性物質による年間被ばく量は、最大限に見積もっても約0.009ミリシーベルト/年と推計されます\*。この値は、公衆の年間被ばく線量限度である1ミリシーベルト/年と比べて十分に低い値です。

\*「環境放射線モニタリング指針」平成20年(原子力安全委員会)から引用する摂取量に基づき推計  
【参考】食品衛生法に基づく食品中の放射性物質基準値 … 一般食品【100ベクレル/kg】・原乳【50ベクレル/kg】・飲料水【10ベクレル/l】

### 《参考》日常生活と放射線

私たちは、日常生活の身近のところで自然や人口のさまざまな放射線を受けて暮らしています。これらの放射線の量に比べて、今回推計した年間被ばく量約0.009ミリシーベルト/年は、とても低い量であることが分かります。



国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所HPより引用して改題



# 「原子力だより」のお知らせ内容が変わります!

東京電力福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえて見直された国の指針等に基づき、浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査の見直しを行い、調査方法を強化しました。

これに伴い、皆様にお知らせする「原子力だより」の内容が変わります。



## 環境放射能調査の主な変更



### 1 空間放射線の評価方法を変更

変更前

線量率(1時間平均値)

積算線量(3ヶ月間)



変更後

線量率(10分間平均値・1時間平均値)

空間の放射線量の変動をより細かに把握できるようにするため、「10分間平均値」を新たに採用することにしました。

\*3ヶ月間の放射線量(積算線量)については、参考として一部の地点で継続して測定します。

### 2 放射性ストロンチウム、放射性プルトニウムの測定を追加

上水及び土壌については、これまでの放射性セシウムに加えて、緊急時において周辺環境を評価できるようにするため、平常時からの備えとして、放射性ストロンチウムや放射性プルトニウムを測定します。

### 3 測定結果と比較する過去の最大値の求め方を変更

変更前

事故※前の10年間の  
測定値の最大値



変更後

空間の放射線量:直近の5年間の測定値の最大値  
農産物などの放射能:事故前の5年間の測定値の最大値

※2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故

測定結果について、これまでは福島第一原子力発電所事故前の最大値と比較していましたが、事故の影響が認められないレベルになっている「空間放射線量」については、直近の最大値と比較します。

また、測定結果をより厳しく評価するために、過去の最大値を10年間ではなく、5年間で求めることとしました。

原子力だよりは次のページのように変わります! >>>

## 185号

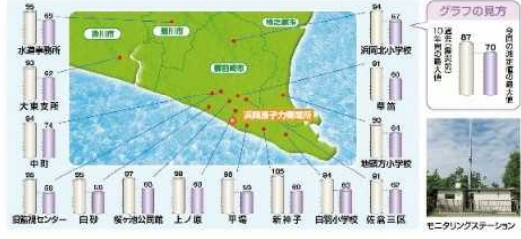
### 令和2年1月~3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
東日本大震災に伴う、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

#### 空間の放射線の測定

##### ▶1時間当たりの放射線量(線量率)

モニタリングステーション(14か所)において、空間の放射線計1時間当たりの最大値を連続して測定しています。令和2年1月から3月で過去(震災前)10年間の最大値を越えた地点はありませんでした。

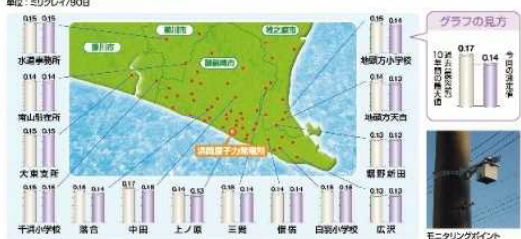


#### グラフの見方

10分間の放射線量(線量率)の最大値

##### ▶3か月間の放射線量(積算線量)

57か所のモニタリングポイントにおいて、空間の放射線計が令和2年1月から3月の3か月間で(20日換算)1あたりどのくらいを測定しました。



#### グラフの見方

10分間の放射線量(線量率)の最大値

放射線調査に用いる単位  
 プレイ(Dr)……放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位  
 シーベルト(Sv)……放射線量を人に人体への影響を考慮して設定した基準量の単位  
 ベクレル(Bq)……放射線の量を表す単位  
 (参考)ミリ(m)……1/1,000 千分の1  
 マイクロ(μ)……1/1,000,000 百万分の1  
 ナノ(n)……1/1,000,000,000 10億分の1

#### 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和2年1月から3月の間に測定した試料の一部は、過去(震災前)10年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核燃料燃焼などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定されました。

##### ▶代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値



今回の「空間の放射線の測定」および「農産物などの放射能の測定」の結果から、人工放射性物質による年間被曝量は、最大値に見ても約0.01ミリシーベルト/年と推定されます。この値は、公衆の年間被曝線量(線量率)として1ミリシーベルト/年と比べて十分低い値です。

#### 【参考】日常生活と放射線

私たちは、日常生活の身辺のところで自然や人口のさまざまな放射線を受けて暮らしています。これら放射線の量に比べて、今回計測した年間被曝量は約0.005ミリシーベルト/年ほど、とても低い値であることが分かります。



## 186号

### 令和2年4月~6月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

#### 空間の放射線の測定

モニタリングステーション(14か所)において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和2年4月から過去5年の最大値を越えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず放射線由来のものでした。



#### 1 「10分間平均値」も追加しました!



測定結果から、自然放射線による外部被曝は、年約0.29mSvと推定されます。  
(日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv)  
 ※日常生活環境放射線(国民放射線の測定) 平成23年12月(原子力安全研究協会)から引用

#### 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和2年4月から6月の間に測定した試料の一部は、過去(震災前)5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核燃料燃焼などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定されました。

##### ▶代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値



#### 2 放射性ストロンチウム、放射性プルトニウムを測定を追加しました!



##### ▶放射能調査に用いる単位

プレイ(Dr)……放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位  
 シーベルト(Sv)……放射線量を人に人体への影響を考慮して設定した基準量の単位  
 ベクレル(Bq)……放射線の量を表す単位  
 (参考)ミリ(m)……1/1,000 千分の1  
 マイクロ(μ)……1/1,000,000 百万分の1  
 ナノ(n)……1/1,000,000,000 10億分の1

